



災害を知り 備える

危機対策課危機対策係 23-3801

地震、土砂災害、洪水などの災害への備えとして、備蓄品の用意をしていますか？

災害が発生したときは、電気・ガス・水道などのライフラインが止まってしまう。そのような状況下でも生活していくためには備蓄品が必要です。参考に備蓄品の例をまとめました。この機会にご家族でどのような物を用意したらよいか考えてみましょう。

非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト

非常食・飲料水

- 非常食（アルファ米や缶詰、乾パン、カップ麺、レトルト食品など）
- 飲料水（1人当たり1日3ℓが目安）
- 簡易食器（割り箸、紙コップ、紙皿、ラップなど）
※非常食や飲料水は1人当たり最低3日分、できれば7日分を用意しましょう。

情報収集用品

- 携帯電話（充電器、モバイルバッテリー）
- 携帯ラジオ（予備電池）
- 防災マップ

救急・衛生・感染症対策

- 救急セット（消毒液、ガーゼ、絆創膏、爪切り、体温計など）
- 衛生・感染症対策用品（マスク、ティッシュ、トイレトーパー、アルコール消毒液、ウェットティッシュなど）
- 風邪薬や解熱剤などの常備薬、常用薬、お薬手帳
- 歯ブラシ、液体はみがき、洗顔用品
- 携帯トイレ

※上記は非常時の持ち出し品・備蓄品の一例です。必要なものは、個人によって様々です。ご自分や家族の状況に応じて、備えましょう。

備蓄には「ローリングストック」

家族構成や生活スタイルに合わせて、食料や日用品を少し多く買い揃え、揃えたものを順番に使いながら新たに買い足していく「ローリングストック」を日頃から生活に取り入れてみましょう。

携帯トイレの重要性

家庭で自活するためには、食料、飲料水の備蓄はもちろんのこと、「携帯トイレ」を忘れてはいけません。生きる上で、食べること、飲むこと、排せつすることはセットです。自分や家族を守るために携帯トイレを備蓄しましょう。

夏休み！福祉キャンプ～親子 de 防災キャンプ～

日時 8月3日12時00分～4日11時00分
場所 旧当別小学校体育館
対象 小学1～6年生 / 中学1～3年生とその保護者（とうべつ学園は1～9年生）
人数 親子30組限定 ※先着順

内容 消火訓練・ダンボールベッド作成など
参加費 無料
申込 右記QRコードから
7月19日締め切り

